

特集

## シモの悩み よるず引き受けます

泌尿器科 白戸 玲臣

尿路（おしっこの通り道）にかかわる様々な問題を取り扱う泌尿器科です。

令和2年8月より泌尿器科医師が3人から4人に増え、パワーアップしています。

当科の取り組みをご紹介します。

### ● 小さな創で手術します

～体への負担が少ない腹腔鏡手術～

これまで他院に紹介していた症例も当院で手術できるようになりました。患者さんの体への負担が少ない腹腔鏡下手術を積極的に行っています。

#### 令和2年度に行った腹腔鏡下手術

副腎摘除術（副腎腫瘍）、腎摘除術（腎癌）、腎部分切除術（腎癌）、腎尿管全摘除術（腎尿管癌）、膀胱全摘除術（膀胱癌）、仙骨腔固定術（骨盤臓器脱）、精索静脈瘤根治術

### ● 増えています ～前立腺癌～

生活様式の欧米化に伴い、本来アジア人では少ないとされていた前立腺癌が年々増えています。男性の癌としては2020年以降、胃がんを抜いて最も多い癌になるといわれています。一般的にPSAという前立腺がん検診に用いる血液検査の値が4.0ng/ml以上で精密検査をお勧めしています。前立腺癌は早期発見できれば怖くありません。検査、治療の方針などを外来でわかりやすく説明しています。

実際の治療については愛媛大学医学部附属病院、愛媛県立中央病院などに紹介しています。将来的には手術支援ロボットを用いた前立腺全摘除術も当院で行えるよう、各方面に働きかけています。

### ● 男性の悩み

～おしっこが出しにくい。勢いが弱い。～

男性には膀胱の下に「前立腺」という男性特有の臓器があり、膀胱にたまったおしっこは前立腺内のトンネルを通って外に出ていきます。加齢とともにこの前立腺は少しずつ大きくなり（前立腺肥大症）、排尿困難の一因となります。前立腺肥大症による排尿困難に対して、さまざまな内服薬による治療が行われますが、薬では症状が良くならない、効果が不十分であるといった方

もたくさんおられます。このような方に対して、経尿道的な（お腹を切らない）前立腺の手術をお勧めします。電気メスを使った従来法（主に下半身麻酔。比較的短時間の手術。あまり大きくない前立腺肥大症に適している。）やレーザーを用いた手術（主に全身麻酔。若干手術時間が延長するが、出血が少ない。大きな前立腺肥大症にも対応できる。）を行うことで、気持ちよくすっきりした排尿を取り戻すことができます。それぞれの患者さんに適した手術法をお勧めします。

### ● 女性の悩み ～下からナスビが出てきた。～

女性特有の悩み事に「骨盤臓器脱」があります。長年頑張って膀胱や子宮や直腸を支えてきた筋肉や靭帯が次第にお疲れになり、たるんでくることで、膣から膀胱や、子宮、直腸が顔を出すようになります。これらを総称して「骨盤臓器脱」と呼びます。巷では「ナスビがでる。」と表現されることもあります。常に下半身に違和感があったり、痛みや出血、排尿障害の原因となったりします。非常に不愉快な状態ですが、誰にも相談できず抱え込んでしまっている方がたくさんおられます。小さな創の腹腔鏡手術で治療ができます。たるんできた膣壁を腹腔内に吊り上げ、たるみをとることで膀胱や子宮、直腸の飛び出しを元に戻します。少し勇気を出してご相談いただければ、すっきりした生活を取り戻すことができます。

### ● すぐに来てください ～赤いおしっこ～

尿路結石、膀胱炎など赤いおしっこ、血尿が出る原因は色々あります。その中でも最も気を付けなければならないのは膀胱癌に代表される尿路の癌です。膀胱癌による血尿の特徴としては「痛くない。自然に止まる。」です。赤いおしっこが出てびっくりしても、症状がなく自然に止まってしまうことでなんとなく安心して様子を見てしまうことがよくあります。検査は外来で簡単にできます。すぐにいらしてください。

「家から一番近い病院で」泌尿器科の治療が完結できることを目標にしております。人に言えない「シモの悩み」、勇気を出してこっそり気軽にご相談ください。

